



MAY.2010
VOL.154

かしわ市議会だより

第 154 号

平成 22 年 5 月

発行 柏原市議会

編集 市議会だより編集委員会

柏原市 安堂町1番55号

電話 972-1501(代表)

FAX 971-8932

Eメール gikai@city.kashiwara.osaka.jp

「春」(撮影：裏野光雄氏)

- 市政運営方針に
対する代表質問……………②
- 議案に対する代表質疑……………④
- 次回定例会予定……………⑥
- 討論のあらまし……………⑥
- 議会で決めたこと……………⑧
- 議会日誌……………⑧
- 表紙写真の募集……………⑧

平成22年第1回定例会は、2月24日から3月30日までの35日間の会期で開会いたしました。今定例会では、6会派の代表、並びに会派に属さない議員1名による市政運営方針に対する質問、そして、議案に対する質疑が行われ、活発な議論が展開されました。また、定例会最終日には討論が行われ、結果として議案37件を承認・可決いたしました。

市議会だより表紙写真募集中！

より親しみやすい紙面をめざし、今回試行的にレイアウト変更・写真の公募（8ページ）を行いました。

市議会だよりへのおみなさまのご意見をぜひお寄せください。

【議会事務局：072-972-1501】

本市のスポーツ振興について

柏原維新の会

問 本市のスポーツ振興についての考えを問う。

答 スポーツは、単に心身の健康を促すというものだけではなく、人と人とのコミュニケーションや豊かな人間形成の場にもなり、大変意義のある活動と理解しており、

まちづくりのためにも、欠かすことの出来ない重要なものであると認識している。

問 柏原市の体育協会をはじめとして、中学校のクラブ活動や、こども会のソフトボール活動にも熱心に取り組んでいただいており大変感謝している。

色々な意見もあると思うが、何かひとつのスポーツを重点的に力を入れて、柏原市はこれが強いと

か、これに取り組んでいるとかというのかもしれないのではないかとと思うがいかがか。

答 市内にも、スポーツメーカーはあるが、色々問題もあつて推奨できない。しかし、大変良い考えであると思うので、是非取り組んでいきたい。

要望 柏原市独自で体育の日を設定し、その日は、市内の体育施設、体育館やグラウンド、テニス

コート、プールなどを無料で開放するとか、あるいは、市内の大学などの広大な施設を市民の皆さんにも、利用出来るように働きかけるとか、施設の充実、環境の整備をお願いしたい。



市民総合フェスティバルにて

市民が主人公の改革を

日本共産党

問 地方自治が輝き、市民の暮らしを支え、福祉・教育などの充実した市政運営について問う。

答 これまでの行財政改革をさらに進め、適正な事業規模・経費支出となるよう見直し、財政の健全化と市民福祉向上の両立を目指す

していく。

要望 今、柏原市民の実態は、生活保護世帯(2010年1月末)は788世帯と過去最多を更新し、就学援助の認定率は、1722人の26・4%で、子ども4人に1人は生活保護基準1・1倍以下の生活状況である。多くの市民の方が、国の悪政の結果、悲鳴を上げている。柏原市の財政が厳しいことは市民には責任がなく、国の政治の

責任を追及すべきである。しかし、この市政運営方針や予算案には、市民の生活や暮らし、健康を守る視点がほとんど見えない。今までの行革は、人件費やその他の経費削減、市民サービスのカットや有料化、値上げと、市民と職員への負担増で立て直しをはかるものであった。これからの行財政改革の方向性もますますの歳出削減と受益者負担、つまり市民の負担増の

方向で進められようとしている。今必要なことは、清潔・公正で開かれた市政運営を進め、暮らし最優先で社会的に弱い立場の市民を守る視点にたち、市民協働で魅力あるまちづくりをすすめることである。すなわち、市民の暮らしを守りながら財政再建も着実に前進する中で、市民と市役所の協働が進むと考える。

は、市民に対して、サービスカット・負担を求めるなどの値上げなしで、市内の中小企業や商店等の市民の懐を豊かにすること、そして生活や暮らしを守り、福祉や教育を充実する。それが、柏原市の特徴を出し、柏原市に住みたい、住み続けたい、子育てをしたいと思っただけのような改革である。この視点にたち、これからの市政運営を行うように強く望む。

大阪ミュージアム構想について

自由民主党政新会

問 柏原市における21世紀を開く快適な都市基盤づくりとして、大阪ミュージアム構想事業の進め方について、市長の考えを問う。

答 大阪ミュージアム構想は、知事が府の活性化と魅力を全国に発信しようとスタートした政策で

あり、本市も賛同している。

また、この関連事業として歴史的、文化的資源を生かした「石畳と淡い街灯のまちづくり支援事業」を設立され、モデルとなる府下で6地域を選び、その地域の魅力をより引き立てようとするものである。

本市も、モデル地区に業平道や、ぶどう畑として歴史的資源やまち並みのすばらしい太平寺地区が、



太平寺キックオフフォーラムの様子

審査会において高い評価を受け、選ばれて今後事業を進めていく。

問 具体的に太平寺地区においては、この事業をどのように進めていく構想を持っているのか。

答 この事業を進めるについては、先日、太平寺地区においてキックオフフォーラムを開催し、また、市民の皆さまによる「柏原太平寺まちづくり集会」が設立された。予定している整備内容は、太平

寺地区の景観舗装整備やぶどうトンネル、そして近鉄堅下駅と安堂駅から太平寺地区への道しるべ的な役割を持つ誘導路整備を計画している。

要望

太平寺地区を高く評価していただき光栄に思っているが、今後事業を進めるについて充分地元と話し合い、地域と行政が一体となって柏原市の発展のため努力していただくことを要望しておく。

市民満足度を高めるまちづくり

公明党

問 市民の皆様や企業、大学と協働した個性的で魅力と活力あるまちづくりについて問う。

答 柏原市には、歴史や自然の地域資源が豊かにあり、その資源を活用してボランティア団体やNPO法人によるまちづくりが行わ

環境とゴミについて

市民の会

問 環境破壊している業者に、なぜ、事業系の許可をされたのか。19年8月、駅前にオープンしたスパーの事業系収集運搬の許可を受けてない業者に搬入券をなぜ支給したのか。

答 産廃の件、心配していただ

学校施設に

太陽光発電設備の導入を

市民・民主クラブ

問 機能的で未来につながるまちづくりと環境対策について問う。

答 清潔で美しいまちづくりを推進するため、ゴミの減量と再生化などの活動を地域の環境美化に取り組み各種団体等と進める。また今年度中には、ISO1400



高井田横穴第3支群5号墳

き本当にありがたい。

私が市長となって5年になる。しかし、それは何年前の話なのか。場所はどこなのか。

この問題は、大阪府の問題である。警察に行くのが一番先である。私も一緒にさせていただく。証拠なり写真なり資料なりを持って警察なり、大阪府なりに行っていたきたい。

その結果、柏原市に対して対処

1環境マネジメントシステムの自己宣言を行い、平成22年度から、より一層、市民協働のもと地球環境にやさしい自治体を目指す。

問 国では、環境エネルギー課の設置など、鳩山イニシアチブ提

案のもと、2020年までにCO2温室効果ガスの25%削減を戦略的創造研究事業として、目標の達成に向け進められているが、柏原市において、学校施設等公共施設

れている。また地元大学や企業など「産・学・官」の連携によって各種の施策に取り組み、柏原市の魅力発信を推進している。しかし財政状況は厳しく、その様な時こそ柏原市にかかわるすべての人が「オール柏原」で地域資源を活かした協働のまちづくり、市民の皆様が幸福を感じるまちづくりを目指し「住みたいまち 住み続けたいまち 魅力あるまち」の実現に

しなさいという話になれば、市はすぐ手を打つ。法律に基づいて手を打っている。井戸端会議ではない。証拠を持って物を言ってもらいたい。

問 産業廃棄物のことをご存じないのか。

答 処分地があることは知っている。しかし、会社の名前は知らない。

問 大阪府は、その処分地は不

への太陽光発電設備等の積極的な導入を推進する予定はあるのか。

答 環境対策が重要視されている今日、公共施設での太陽光発電設備の推進や導入促進を図っていく。

要望 太陽光発電は、環境対策や経済効果も大きく期待でき、さらに、使いきれず余った電気は電力会社に買い取ってもらえ、省エネにつながる。また、学校施設で



校舎屋上太陽光発電設備（他市）

向け努力したい。

問 毎年500人ずつ人口が減少しているがその対策を問う。

答 人口減少の理由をさまざまな角度から検証し、市で解決できる範囲はどの程度かを考え、一つ一つ積み上げてやっていく。

問 自分の身の丈に合ったまちづくり、地域の自然や歴史資源を生かしたまちづくりについて問う。

答 身の丈に合ったまちづくり

法投棄であることを認めた。対応は、府が考えてくれると思う。

大阪府が認めたのであるなら、市としても撤去するように言っていたきたい。市民のためなので是非お願いしたい。

答 大阪府から正式に要請があれば、市はどんな形でも受ける。

問 産廃のことにに関して心強く思う。その処分地は、昭和62年にガラのみの許可、平成10年には

として、「産・学・官」を総合的にまとめ上げる手法で、新しい柏原市の進むべき道をつくっていく。柏原市は、今までの行財政改革では決して満足していない市民に対して、夢と希望と柏原市を誇りに持っていたけるような施策を推進し、市民の皆様が柏原市に住んで幸せを感じていただけるよう平成22年度より新たに「市民幸福度」の高い市政運営を行いたい。

すべての許可を取り消された。しかし、以降も産廃が不法投棄されていたがいかがか。

答 担当課では分からなかった。

問 産廃のことは、聞いていない。産業廃棄物を不法投棄した業者になぜ、平成20年8月1日から事業系の許可が下りたのかを聞いているが、いかがであるか。

答 それは知る由もない。大阪府が下した。

の太陽光発電設備の導入は、省エネ・環境改善にとっても、子ども達への環境工口教育にとっても、有意義でもある。災害時には、公共学校施設を、市民にとつての待機・避難場所にも転用できる。

太陽光発電設備の公共施設導入を推進し、さまざまな変化にも対応できる、安心で豊かな「近未来都市」柏原市へと踏み出されることを強く要望する。

歴史・文化的まち並み 再生事業と道路整備について 市民の会

問 歴史・文化的まち並み再生事業と柏原駅・堅下駅周辺の道路のカラー舗装化計画を問う。

答 歴史・文化的まち並み再生事業は、大阪府補助事業として太平寺地区で実施する。その為、安堂駅・堅下駅から太平寺地区へ路

面サインによる誘導を計画している。柏原駅から、カラー舗装道路を辿っていくと堅下駅へ到着し、そこから路面サインを目印に散策すると、太平寺地区へ行ける。

しかし、大泉通りの東側の堅下駅周辺は黒い舗装のままである。

平成21年度は堅下駅まで、平成22年度には堅下駅から東方向の旧国道170号までの区間で、ガス管理設工を行う。埋設後に復旧

旭小児童会の 専用トイレについて 市民・民主クラブ

問 旭ヶ丘小学校放課後児童会専用トイレ設置について問う。

答 議会や旭ヶ丘小学校児童会保護者会から要望をいただいていたが、このたび国の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」の補助対象に採択され、ようやく専用ト

イレを設置することとなった。

これにより、学校の休日や雨天時にトイレの利便性が高められることとなる。

問 設置場所と内容、工事時期を問う。

答 洋式トイレ4基を、児童会室の北部分（現在、倉庫にしている場所）に設置する。

設計を平成21年度末までに完了し、22年度夏休み中に工事を実施



トイレ設置を待つ旭小児童会

する際、カラー舗装化を行う。したがって、平成23年度には柏原駅から大泉通りを経て、堅下駅さらに旧国道170号までのカラー舗装が完成することとなるが、色は沿道商店街や地元住民の方々の意見も聞き決定する。

答 本市と八尾土木事務所及び大阪ガスとの間で、協定書等を交わす必要があり、現在事務的なつめを行っている。これが終わり次第工事に入る予定であり、若干着工がずれたが4月になると思う。

問 大泉通り商店街のうち、JRの踏切から、西側の上市今町線までの道路のカラー舗装化は可能か。

答 この区間は、車の通行も多

したいと考えている。

要望 この件に関して、私も12月の本会議でお願いをさせていたが、こんなに早く受け入れていただき本当に幸せに思う。また、民主党のきめ細かな政策にも感謝する。

平成13年12月の本会議でも、旭ヶ丘小学校放課後児童会のプレハブ設置とトイレのお願いをさせていたが、そのときはブレ

く黒舗装のままで、沿道商店街や地元住民の方々の意見がまとまれば、八尾土木事務所からカラー舗装は可能であると聞いている。

要望 事業の一環として、太平寺地区の特産のぶどうを生かした「ワイン特区」の申請を提案する。

高槻市では、「ぶろく特区」を申請し、認可を受けている。他市から来られた方に楽しんでいただくためにも一考を望む。

ハブの設置のみしていた。このたびのトイレについては長年の願いが叶い、これで市内小学校の放課後児童会のトイレの状況が足並みをそろえたこと、市のお金を使うことなく実現したことを本当に喜んでいる。

夏休み中に工事を実施されるということで現場の要望なども聞いていただき、使いやすいトイレが出来るようよろしくお願いします。

駅のバリアフリーについて

自由民主党政新会

問 JR高井田駅昇降設備事業について、事業が遅れている理由を問う。

答 駅構内に、天王寺・奈良方面の名ホームに1基ずつエレベーターを設置すると共に多機能トイレも改修し、駅構外についても駅

前広場側にエレベーターを1基設置する計画である。事業はJRが施工するが、市側が事業費の負担を極力抑えるため、通常構外エレベーターの市の負担は2分の1の

ところ、JRとの交渉で駅構内の事業として位置付けができた結果、3分の1の負担ですむようになった。

また、全体の事業費や補助金についても市の負担が減るよう、JRと交渉し、設計内容を修正し

ているため、工事着手までに時間がかかっている。

問 国豊橋から高井田駅までの歩道の拡幅について問う。

答 本市バリアフリー構想の中でも、整備要望の最も高い案件であり、計画は堤防の北側の歩道を幅員3・5m、車道幅員6m、全幅9・5mの道路に拡幅し、約150mの延長をする。

しかし、一級河川大和川の堤防

上の道路でもあり、神社敷地、民家もあり移転が必要であるので、大和川河川事務所、大阪府、本市により、連絡会議を開催して進めていくことで、事業計画が合意された。

要望 高井田駅構内エレベーターにおいては、平成22年度末まで、事業期間が必要とのことなので、完成までよろしく願います。また、歩道拡張事業においては、

また、駅前広場において、歩行者が斜めに、横断することが多いので、駅前広場の安全なルートを検討していただくことを要望する。

認定基準の引き上げを

問 就学援助費の認定基準を以前認定していた生活保護基準の1・25倍に戻す考えはないか。

答 3年前に基準を1・1倍に引き下げた。府下でも平均で低い水準ではなく、基準を戻す考えはない。

公明党

問 正規職員の保育士が減少しているが、保育内容に影響はないのか。また、低年齢児の入所保育について問う。

答 前年度と比較して、2名の減員となるが、各保育所の各クラス年齢には、正職保育士を最低1

柏原維新の会

問 柏原の子ども達の学力向上のために新年度はどのように学校を支援していくのか問う。

答 過去3年間、全国学力調査の結果分析をもとに、全校でそれぞれの課題克服のための学力向上プランを策定し取り組んできた。教

問 各自治体が実施する就学援助事業費は、2005年から国の補助金が大幅に削られ、さらに就学援助受給世帯のうち、生活保護世帯を除く「準要保護世帯」への補助金は用途を限定した「一般財源化」したため、就学援助費は縮小された。柏原市でも2005年に4人世帯で年収346万4433円まで認定されていたのが、2009年は、292万8433円

名は配置し、在籍保育士の研鑽を高めるとともに、保育士経験を3年以上有する者を嘱託保育士として、新年度は、前年度から4名増員して16名を任用することで、保育内容の充実を図っていく。

低年齢児保育については、近年0歳や1歳からの入所を希望する傾向にあり、民間保育園とともに公立保育所においても対応していきたい。

育委員会で、大阪府が実施する市町村支援プロジェクト事業を積極的に活用するほか、個別用学習機器を使用した学習、朝の時間を利用した反復学習、指導力向上に向けた教職員研修会の実施等、支援を進めている。

また、平成22年度の学力・学習状況調査は抽出調査になったが、各校が取り組んできた学力向上方策の効果検証の一環として、抽出

へ4年間で53万6000円も引き下げられた。毎月の教材費が払えない、家庭の事情で修学旅行や卒業アルバムの積立金が払えない等、親の収入が落ち込み、子どもの生活にも大きく影響の出ている。今こそ認定基準をもとに戻すことが求められている。基準をもとに戻すよう強く求める。

問 今後の保育内容の充実について問う。

答 低年齢児保育については、現在、4月1日付けで1歳を超え入所時において1歳6か月を超えている児童が入所できる保育所は、柏原西保育所と田明保育所だが、平成22年度より堅下保育所と法善寺保育所においても実施する。

また、延長保育については、現在午後7時まで実施しているのは

校以外も含めて全校で実施する。

一方、小学校においては『スタディ・アフター・スクール』、中学校においては『おおさが・まなび舎事業』を、ともに新年度から全校実施する予定である。

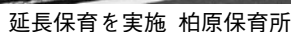
今後も全ての子どもたちの学力向上のために学校を支援していく

問 新学習指導要領が平成23年度から順次本格実施され、授業時間の不足が懸念される。他市では

にできないか問う。

答 学校保健法施行令で認められた疾病についての費用は対象になるが、そうでないメガネの市独自の援助体制は考えていない。

要望 視力の悪い子どもにとってはメガネは教室での授業にかかかれない。また小学校低学年の場合近視ではなく遠視で見えない場合ほっておくと、弱視になる。学習にもさまざまな影響を及ぼす子ども



法善寺保育所と田明保育所の2か所だが、平成22年度からは、全保育所において、午後7時まで延長保育を実施する。

要望 低年齢児保育においても、延長保育においても、今のニーズに合った施策の充実をしていた。たき、子育て支援の充実につながった。これからも低年齢児保育の受け入れに努力をしていただけるよう要望する。

校現場での授業時間数確保の工夫を見ながら、市教委としても土曜授業について検討していきたい。

要望 現実的には学校教育法の施行規則に明記されているように学校の土曜活用については自主参

加型の補習授業程度しか出来ないが、今後の府の動向と、柏原市の学校現場における授業時間数確保の工夫を見て、検討いただくことを要望する。

市政運営方針に 対する個人質問

まちづくり戦略会議に ついて

会派に属さない議員

問 昨年12月に行政手腕に長け、

国、地方に広くネットワークを持たれた中司氏をトップとした、柏原市まちづくり戦略会議が立ち上げられ、本年1月には大阪府下で初めて、平成22年度予算の公開ヒアリングが実施された。私も会場に足を運び、聞かせていただいたが、当日は、32事業について査定され、その結果、約50%、金額にして約5億円を削減された。このことについて深く敬意を表するが、今後の事業仕分けの方法について

問う。

答 今後の事業仕分けについては、「小さくてもきらりと光るまち」「住み続けたい魅力あるまち」を目標に、1月に実施した公開予算ヒアリングに続き、その開催を予定している。現在その対象となる事業選定作業を戦略会議委員で行っている。

議案に対する 個人質疑

生活保護扶助費に ついて

会派に属さない議員

問 扶助費の増大が新聞等々で社会問題となっているが、本市の状況と今後について問う。

答 本市の平成21年度の生活保

護受給世帯は、年度当初747世帯であったのに対し、今年2月末現在794世帯で47世帯増えた。そのうち43世帯が、病気やけが等で就労ができずに著しく収入が減少した「傷病及び障害者世帯」で、この結果、医療扶助費の支出の増に大きな影響を与えている。

平成22年度の当初予算では、平成21年度に比べて、昨年12月から復活した母子加算2100万円を含む生活扶助費で6700万円、医療扶助費で1億円、住宅扶助費で3800万円の増を見込んでいる。

今後もセーフティネット支援対策事業費補助金を積極的に活用し、被保護世帯に対する自立支援に取り組んでいく。

懲罰特別委員会を設置

3月12日定例会議2日目の市政運営方針に対する市民の会代表者 濱浦佳子議員の発言は、利益誘導を招く恐れがあり、また議長の再三の注意に対する議事整理権の義務違反は、議会の秩序維持や品位の保持に反する言動であるとのみなされ、柏原市議会会議規則に基づき、懲罰動議が提出されました。それにより、懲罰特別委員会を設置し、3月25日に第1回目の委員会を開催いたしました。

その際、一身上にかかわるという性質上、今後は秘密会(※)とし、また、慎重に審査を行うため継続審査とすることに決しました。

結果については、本会議において報告するとともに、かしわら市議会だより等を通じ、お知らせします。

第2回定例会(予定)

- 6月4日(金) 本会議(各委員長報告・議案説明)
- 16日(水) 本会議(個人質疑・質問)
- 17日(木) 本会議(個人質疑・質問)
- 21日(月) 総務文教委員会(付託議案審査)
- 22日(火) 市民福祉委員会(付託議案審査)
- 23日(水) 建設産業委員会(付託議案審査)
- 29日(火) 本会議(各委員長報告・採決)

※いずれの会議も午前10時から。

※日程変更する場合があります。

※秘密会とは

本会議は地方自治法第115条、委員会は市議会委員会条例第19条に規定され、出席議員の3分の2以上(委員会は過半数)の議決により決定する。会議公開の例外であり、議員または住民の一身上の事件にかかわる審議の場合等とされている。

平成22年 第1回定例会における討論から

3月30日に病院事業の設置等に関する条例の一部改正と平成22年度一般会計予算に対する討論を行いました。討論の後、採決を行い、各議案は原案どおり可決されました。討論の要旨については次のとおりです。(6ページから7ページ)

反対討論

市立柏原病院は、市民の健康と命、地域医療を守るため、その役割を果たしていく必要があり、その大前提として、市民のための病院、市民の願いに沿った病院であることは言うまでもない。以下、その立場で反対理由を述べる。

第一の理由は、事業管理者を置いて全部適用にする目的が、採算

性を最優先し、経営効率を高めることにより、独立採算性を強め、一般会計からの繰入を削減することである。今回の全部適用により、国のガイドラインが示しているように、その先の独立行政法人化や民間移譲の方向へ進んでいく可能性があること。第二は、職員的身分が企業職員となり、事業管理者

に職員の給与や基準を定める権限が与えられ、採算性が最優先される中で、医療従事者に大きな犠牲がかかけられ、そのことが、市民・患者のサービス低下につながる。第三に、市民に選ばれた市長から事業管理者に大きな権限が集まることによって、議会のチェック機能が失われ、住民の意

見が直接及ばないことが懸念されることである。

全部適用のねらいは、病院事業に、民間的な経営手法を導入し、経費削減を至上命題としている。一般会計からの繰出金の削減、業務の集中化、民間委託の促進、差額ベット代や有料サービスの拡大などが加速し、結果的に患者・利用者負担を転嫁して、医療従事者に犠牲を強いことが予測される。地域住民の健康を維持増進し、地域の発展に貢献する原点を置き去りにする公営企業法の全部適用に反対を表明する。

平成22年度一般会計予算に対する

賛成討論

平成22年度一般会計予算について原案に賛成の立場から意見を述べる。

反対討論をされた、柏原市まちづくり戦略会議の議長に対する報酬については、採用の経過等、何度となく説明されてきた。柏原市のあるべき姿、進むべき方向性について、市長に提言していく機関の長として、議長が有する識見、経験、人脈等は柏原市にとって必

要である。

昨年12月1日にまちづくり戦略会議を立ち上げられ、本年1月13日、14日と両日にわたり、予算公開ヒアリングを実施され、この予算査定で、5億円の費用削減を提案されたところである。今後実施予定の柏原版事業仕分けにおいて、限りある財源を有効活用し、「住み続けたい魅力あるまち」の実現に向け、まちづくり戦略会議の役

割は重要であり、大いに期待するものである。

また、就学援助制度は、学校教育法（第19条）の定めるところにより、教育の機会均等を図るために、経済的理由により、就学が困難とみられる児童・生徒の保護者に対し、必要な援助を行う目的で実施している制度である。

柏原市の制度は援助対象となる支給費目及び額等は、国指定に沿

った形で実施されている。この制度の財源であった国庫補助負担額は、平成17年に、国の三位一体改革のもと廃止・縮小されている。本市は苦しい財政状況の中でも、市単独で実施している。新年度予算は先行き不透明な厳しい状況下で、多様な市民要望に応え、財源の重点的かつ効率的な配分の予算であることから、原案に対し賛成するものである。

反対討論

第一の反対理由は、市民の暮らしや生活を守る予算になっていないことである。柏原市民の生活や暮らしは、底なしの悪化が続いている。格差と貧困が拡がり、子どもたちから高齢者にいたるまで、市民の生活・暮らしは苦しくなる一方である。だからこそ、本来の役割である、市民の暮らしや命を守るべきである。

第二に、市民に納得のいかない

理解が得られない予算が組まれている。戦略会議議長報酬に402万円も市民の貴重な税金が使われる。戦略会議の目的は財政難を理由に、歳出削減と受益者負担、つまり市民の負担増の方向で進めようとしている。予算公開ヒアリングの結果を見ても明らかである。保育所に雨漏りがあり保育に影響が出る。トイレの老朽化により、安全性が危ぶまれる。また、教育

関係では、大阪府下平均より遅れている学校耐震化のための予算や幼稚園の遊戯室へのクーラー設置など教育や福祉関連予算がごとごとく減額や必要なしとされた。

次に、戦略会議の責任者に、中司前枚方市長を非常勤職員として採用していることである。係争中とはいえ、談合罪で逮捕され、一審判決で有罪判決を受けた同氏を採用し、市民の貴重な税金を使う

ことは、到底市民に理解が得られない。

今、必要な改革は、市民の暮らしを守りながら市民の立場で無駄を省き、財政再建も着実に進め、福祉や教育を充実させることである。

今回の予算案は、この立場からみても、市民の実態を踏まえ、市民の命と暮らしを守る予算になっていないため反対する。

病院事業に関する

賛成討論

柏原市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について、原案に賛成の立場から意見を述べる。

市立柏原病院は、開院以来、市民に良質な医療を提供し、地域の中核的な医療施設としての役割を担ってきた。今後も、市民の安全・安心を守る砦として存続させるべき柏原市の大きな財産である。

しかし、国の施策として医療費が抑制され、医療従事者の確保も

困難を極めるなど、自治体病院を取り巻く環境は、非常に厳しい。

その中でも、市立柏原病院は、関係者の努力により、医師の増員を図り、診療体制を充実し、徐々に経営面も改善され、職員の意識も高まっていると感じる。

ここで、さらに公立病院としての役割を果たしつつ、柔軟性、迅速性、経済性のある運営とするために、地方公営企業法の全部適用

に踏み切ることを高く評価する。

市の直営形態を維持しつつ、医療体制の充実と経営の健全化を目指す、この手法は既に府下の自治体病院の半数が選択しており、現状では最善の方法であると考えている。

経営の健全化を図ることは重要であるが、一方で指定管理者や民間譲渡ではなく、議会や首長の関与を残し、公的な側面を維持して

いく全部適用は、採算第一主義ではなく、市民の健康を守るための施策であることは、本会議での質疑応答からも明らかである。

地域医療の担い手として、市民に良質な医療を提供しつつけるという公立病院としての役割を果たすため、市立柏原病院のさらなる医療体制の充実を期待し、条例の一部改正に対して賛成とするものである。

3月議会で決めたこと

- ◇専決処分報告(損害賠償の額の決定及び和解について) (報告)
- ◇専決処分報告(工事請負契約の変更契約の締結について)について
 - ※片山雨水ポンプ場工事に関する契約について
- ◇専決処分報告(財産の取得について)について
 - ※小・中学校にタブレットパソコンやノートパソコン等備品を整備するもの
- ◇専決処分報告(平成21年度柏原市一般会計補正予算:第11号)について (以上、承認)
- ◇市道の路線認定について
- ◇公の施設(柏原市自動車駐車場)の指定管理者の指定について
- ◇公の施設(柏原市体育施設)の指定管理者の指定について
- ◇非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ◇柏原市中心身障害者福祉基金条例の一部改正について
- ◇柏原市国民健康保険条例の一部改正について
- ◇柏原市東部大阪都市計画柏原駅西口地区第2種市街地再開発事業施行に関する条例の廃止等について
- ◇柏原市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ◇病院事業管理者の給料、手当及び旅費に関する条例の制定について
- ◇柏原市病院事業の企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について
 - ※上記3件は、いずれも病院事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴うもの
- ◇平成21年度柏原市一般会計補正予算(第12号)
- ◇平成21年度柏原市国民健康保険事業特別会計(施設勘定堅上診療所)補正予算(第2号)

- ◇平成21年度柏原市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- ◇平成21年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
- ◇平成21年度柏原市市立柏原病院事業会計補正予算(第3号)
- ◇平成21年度柏原市水道事業会計補正予算(第3号)
- ◇平成22年度柏原市一般会計予算
- ◇平成22年度柏原市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算
- ◇平成22年度柏原市国民健康保険事業特別会計(施設勘定堅上診療所)予算
- ◇平成22年度柏原市公共下水道事業特別会計補正予算
- ◇平成22年度柏原市老人保健医療事業特別会計予算
- ◇平成22年度柏原市介護保険事業特別会計予算
- ◇平成22年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計予算
- ◇平成22年度柏原市市立柏原病院事業会計予算
- ◇平成22年度柏原市水道事業会計予算
- ◇寄附の収受について
- ◇和解について
- ◇一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部改正について
- ◇平成21年度柏原市一般会計補正予算(第13号)
- ◇平成21年度柏原市市立柏原病院事業会計補正予算(第4号)
- ◇平成21年度柏原市水道事業会計補正予算(第4号) (以上、原案可決)
- ◇固定資産評価員(中川喜美治氏)の選任につき同意を求めることについて
- ◇教育委員会委員(稲田邦敏氏)の任命につき同意を求めることについて (以上、同意)

- 陳情等**
- 2010年度予算および施策についての要望
新日本婦人の会 柏原支部
 - 建設技能労働者・職人の仕事と暮らしの改善に関する要望
全建総連・大阪建設労働組合
 - 子宮頸がん予防ワクチン接種の公的助成を求める請願
新日本婦人の会 柏原支部
 - (以上の陳情は、理事者送付となりました)
 - 選挙権の年齢引き下げを求める要望
河内の地方政治をよくする会
 - 選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情
日本の子供の未来を守る会
 - (以上の陳情は、議長預かりとなりました)

平成22年(2010年)		議 会		日 誌	
12月	1日	柏原羽曳野藤井寺消防組合議会	定例会議(市政運営方針に対する質問)	12月	12日
5日	藤井寺市柏原市学校給食組合議会	定例会議(議案質疑)	15日	16日	16日
10日	大阪府市議会議長会理事会	建設産業委員会	19日	24日	24日
12日	柏羽藤環境事業組合議会	懲罰特別委員会	25日	26日	26日
15日	農業者委員会	議会運営委員会	29日	30日	30日
16日	中部市議会議長会総会	大和川右岸水防事務組合議会	30日	30日	30日
17日	公民館運営審議会	市民文化会館市民劇場委員会	30日	30日	30日
22日	幹事長会議	土地開発公社役員会	30日	30日	30日
23日	議会運営委員会	東部大阪治水促進議会協議会	30日	30日	30日
24日	全国高速自動車道市議会協議会	監事会・総会	30日	30日	30日
25日	定例会議(市政運営方針演説・議案説明)	市議会だより編集委員会	30日	30日	30日
25日	八尾市柏原市火葬場組合議会	農業者委員会	30日	30日	30日
25日	大阪府市議会議長会理事会・総会	幹事長会議	30日	30日	30日
9日	農業者委員会	市議会だより編集委員会	30日	30日	30日
11日	定例会議(市政運営方針に対する質問)	懲罰特別委員会	30日	30日	30日
		近畿市議会議長会定期総会議員研修会	30日	30日	30日

表紙写真募集中

テーマは「夏」です。市内で撮影したものに限りです。
〒582-8555柏原市安堂町1番55号または
gikai@city.kashiwara.osaka.jp
議会事務局までご応募ください。
※平成22年6月17日(木)必着
※ご連絡先、氏名を必ず明記してください。

編集委員
山下亜緯子
山本真見
濱浦佳子
計盛佐登子

○岸野友美子
○田中秀昭
○奥山涉

(○は委員長 ○は副委員長)